

■背景・経緯

《延伸事業》

- ✓コロナ禍に伴う中断を挟みながらも、特別委員会ははじめ市議会における議論を通じ着実に進捗
- ✓令和6年第3回定例会において、実施設計の費用として補正予算が成立

《市電の運行》

- ✓多発するインシデント※を受け、令和7年4月の上下分離導入を延期し、安全・安心の観点から軌道運送高度化実施計画を精査することを公表（令和6年11月）
※令和6年は、11件のインシデントを含む16件の運行トラブルが発生
- ✓安全統括管理者、安全対策チームの設置など、安全管理体制の再構築を実施

しかしながら・・・

- ✓年末の脱線事故に加え、先日15日からは一部区間（水道町～辛島町）の運休を行うなど、市電に対する市民の信頼は大きく失墜し、信頼回復には程遠い状況

■市電延伸事業について

- ✓市電の安全管理体制の再構築と並行して事業進捗を図ってきた
- ✓現在の市電の状況を踏まえ、まずは、市電の運行の根幹である安全・安心の道筋を明らかにすることに優先的に取り組む必要があると判断
- ✓市電延伸事業の意義や必要性は変わらないものの、今後のスケジュールを再検討
- ✓令和7年第1回定例会において、実施設計に係る予算の減額補正を上程

■今後の進め方

